

オカンとボクと、時々、オトン











冨浦智嗣 田中祥平 谷端奏人 渡辺美佐子 佐々木すみ江 原 知佐子 結城美栄子 猫背棒 オダギリジョー・樹木希林 / 内田也哉子 松 たか子 / 小林 薫 伊藤步 勝地涼 平山広行 荒川良々 辻 修 寺島進 小島聖 吉本菜穂子 光石研 千石規子 仲村トオル 土屋久美子 小泉今日子 板尾飼路 六角精児 宮崎あおい 田口トモロヲ 松田美由紀 柄本明 田中哲司 塩見三省 岩松了 江本純子 安藤玉惠 栗原醴 麻里也 竹下玲奈 小林麻子 ぼくもとさきこ 原作=「東京タワー オカンとボタと、時々、オトン」リリー・フランキー(はぬは70/脚本=松尾スズキ/主題歌=「東京にもあったんだ」福山雅治(ユニバーキャ)) 監督=松岡錠司 撮影=笠松則通 照明=水野研一 美術=原田満生 録音=柿澤 潔 編集=普鳴信一 音楽=上田 禎 衣裳=宮本まさ江 メイク=豊川京子

機能シー 立た知り週 一州町=木町計一 美術=原田頃生 経貨=柿澤 審 編集=専唱信 音楽=上田1 在 女変=宮本まさ正 メイク=夏川原子 動作力ログラション=フはのムメイク=名、リフ・ウェー オリジナル・ウンドラック=ユニバーサル 一般)を持って変えタワー したし、到作者員会(日本アレビ及正理、リフ・ペイ、出)、東京県 三月物は、東京、長春秋、バンギィラル、大き様形、北美学形、北美学の大学、フェルスイラース、展表リンピ、東京リンピ、国際アレビ、国際アレ・国際アレビ、



あのロングベストセラーが、

奇跡的なキャスト・スタッフでついに映画化。





素晴らしい方々に、溢れるほどの愛情を注いでいただいて、 僕の小さな作品を、大きくて温かい映画にしていただいたこと、 心から感謝しております。そして、誇りに思っています。 たぶん、うちのオカンもあの世で畳に額をこすりつけて 恐縮していると思います。―――原作者 リリー・フランキー



昭和から平成へ、 日本の真ん中で、日本人の姿を見守る東京タワー。 この国で暮らすすべての人に捧げる、 ただ普通に生きていくことの素晴らしさ、 あたたかさを見つめ直した映画です。





『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』が、つい に映画になりました。原作は才人リリー・フランキーが 亡き母への思いを中心に、親と子、社会と個人、時代に よって変わるものと変わらぬものの姿を真っ正直に綴り、 210万部を超えるベストセラーとなった作品。相次ぐテ レビドラマ化など社会現象的ブームが続く中、これぞ本 命版と呼べる劇場用映画の登場です。

主人公"ボク"を演じるのはオダギリジョー。つねに 新鮮なイメージで変身し続ける彼が、ごく普通の男を静 かに演じます。物語の真の主役とも言える"オカン"には、 名女優、樹木希林。個性的な名バイプレーヤーとして活 躍してきた彼女が、優しく温かく、たくましくてユーモ ラスな日本の母を、映画の真ん中に立って堂々と演じま す。そのオカンの若き日を、本格的演技は初挑戦の内田 也哉子が演じることも話題です。母・樹木希林との二人 一役で、映画に本物の親子のぬくもりが奇跡的に加わり ました。オカンとボクにつかず離れず、飄々と生きる"オ トン"には実力派の名優、小林薫。いつの世も自分の居 場所を見つけにくい、日本の父の切なさを絶妙に演じま す。オカンとボクの絆をそっと見守る"彼女"役には平成 の本格派女優、松たか子。そのほか、小さな役に至るま で目を離すことができないスーパーキャスティングが実 現しました。

脚本は原作者と同世代、同郷出身の松尾スズキ。昭和 の筑豊の炭坑町で育った少年が、平成の東京タワーの下 で母を看取る原作の精神を正しく理解し、原作の魅力を 損なうことなく、映画脚本として巧みに再構築しています。 エンディングに深い余韻を残すのは、福山雅治が ヒューマンな愛を歌う主題歌『東京にもあったんだ』。 リリー・フランキーの大ファンと公言する福山が、映画 のために書き下ろした感動のバラードです。

監督は『バタアシ金魚』『さよなら、クロ』の松岡錠司。 早くから原作に惚れ込んでいた松岡監督は、安易に"泣 かせる映画"ではなく、人と風景の佇まいに、日本映画 が本来持っている豊かな心を描き出しました。

東原タワー オカンとボクと、時々、オトン

オダギリジョー・樹木希林 / 内田也哉子 松 たか子 / 小林 薫 原作=リリー・フランキー 脚本=松尾スズキ 主題歌=福山雅治 監督=松岡錠司 WWW.tokyotower-movie.jp ©2007「東京タワー o.b.t.o.」製作委員会







